

東洋英和女学院大学大学院

2020年度前期入学試験

春季選抜 問題

人間科学研究科人間科学専攻
修士課程 臨床心理学領域

専門分野

I. 以下の項目について、それぞれ 200 字程度で説明せよ。

①心理アセスメント

②依存症

③ライフサイクル

④動機づけ面接

⑤ストレスチェック制度

II. 次の事例を読んで、問いに答えよ。

事例

Aは、中学1年生の女の子である。40歳代の両親と兄(中学3年生)と父方の祖父母(60歳代)との6人家族で生活をしている。Aは、幼い頃から兄と仲が良く、兄や兄の友達と近くの公園や広場で身体を動かしてよく遊んでいた。野球やサッカー、バスケットボール、バレーボールなどさまざまな球技を男の子達と楽しんでおり、小学生になると同級生に比べてそれらの球技が上手なことから、兄と共に地域のスポーツ団体から誘いを受けていくつかの活動に参加していた。また保育園から親しくしているB(女子)の家を行き来して家族ぐるみのつきあいをしていた。Bとは、主に屋内での遊びをしていた。

Aは出生後に発育など特に問題を指摘されたことが無く、外遊びと屋内での遊びを友達と楽しんだりしてきた。両親は、共働きで、乳児の頃から保育園にAを預けていた。祖父母は、パートタイムで働きに出ている。小学校高学年になったAは、同世代の男女の中では身長も高くなっていた。なおAに苦手な教科はない。

中学に入った4月からAは登校を渋るようになった。朝になって中学校に行くことは渋るものの、家族が登校を促すと渋々ではあるが家を出ていく。しかし日に日に表情が曇ってくる様子が窺えた。部活動は兄が入っていたバレーボール部に入部した。帰宅した後や週末など学校が休みで部活動がない日は幼馴染みと共に外出したり、お互いの家を行き来していた。Aが学校に行くことを渋ったり気分が晴れない様子を見せたりする以外は何も問題視されることはなかった。

こんな状態を心配したAの両親が祖父母と話し合っ、5月の大型連休明けに教育相談センターを訪ねてきた。相談員が、Aの行動を渋っていたエピソードについて尋ねると、小学校高学年の頃に水泳の着替えを嫌がるようになっていたとの話題が出た。

問 あなたが本事例について心理支援(心理療法・カウンセリング)をするとしたら、どのような理論的立場から、どのように理解し、どのような支援の方針を立てるか、400字以内で述べよ。

Ⅲ. 次の事例を読んで、問いに答えよ。

事例

高校生女子 A さんは、朝になると頭痛や腹痛があり、学校を休みがちになっていた。母親に伴われて病院を受診したところ、精密検査の結果に異常はなく、医師はカウンセリングをすすめた。病院のカウンセリング室を訪れた A さんは、カウンセラーから心理面接の説明を受けたあと、学校生活のことや自分の趣味について、カウンセラーに問われるままに話した。面接時間の終了が近くなり、カウンセラーから次回の来談を提案された A さんは、「こんなふうに、ただ話すだけでなおるんですか？」と質問した。

問 カウンセラーは、A さんに、どのような対応をすることが適切か。具体的に述べ、その対応の心理学的な意味についても説明せよ。

Ⅳ. 以下の項目について、それぞれ説明せよ。

- ① チャムシップ
- ② 転移
- ③ モラトリアム
- ④ 内言
- ⑤ 同調行動